

令和5年度 第6回 東海村スポーツ推進計画推進委員会会議録

1	開催日時	令和6年1月18日(木) 18時30分から20時00分まで
2	場所	東海村歴史と未来の交流館 活動室2
3	出席者 (敬称略)	<委員> 塚原美光, 黒羽根史朗, 小林伸朗, 吉沼玲子, 石丸美代子, 田畑由紀子, 小泉親彦, 松坂晃, 竹下浩一, 高橋和将, 富岡孝明 <事務局> 河西徹雄(教育部長), 深見孝志(生涯学習課長), 物井聡(生涯学習課課長補佐), 川崎彰利(生涯学習課主任), 佐藤大樹(東海村文化・スポーツ振興財団スポーツ振興係係長)
4	欠席者 (敬称略)	小川満, 杉山章子, 橋本礼子, 久保田泰世
5	公開又は 非公開の別	公開
6	非公開の理由	—
7	協議・説明事項	・第2期東海村スポーツ推進計画(案)について (1) 意見公募手続きの結果について (2) 第2期東海村スポーツ推進計画(最終案)について
8	配布資料	資料1…第2期東海村スポーツ推進計画(案)に対する意見公募手続き結果 資料2…第2期東海村スポーツ推進計画(案)意見公募手続後修正箇所一覧表(案) 資料3…第2期東海村スポーツ推進計画(案)
9	発言内容	・第2期東海村スポーツ推進計画(案)について 委員)パブリックコメントで計画の名称を変更(「スポーツ推進計画」→「運動・スポーツ推進計画」)する提案があったが,第1期計画の5年間で成果も出てきているので,名称は変更しない方がよいのではないか。 委員)本編で「運動・スポーツ」と表記するのはスポーツへのハードルを下げるためであるが,本来「運動はスポーツに含まれ

	る」ので、計画名称として併記するのは違和感を感じる。 委員）言葉として「運動」と「スポーツ」では意味が異なり、併記する理由は理解できるが、第1期計画が定着してきていることも考慮し、計画名称は変更しない方がよいのではないかと。 委員）姿勢や歩き方など、意識を変えるだけで日常生活の中でも運動することができると考えられており、運動にはストレス解消や脳の活性化、集中力強化、ダイエット効果が期待できる。スポーツは運動に競技性の要素を加えたものであり、両者はかなり近い意味合いの言葉である一方で微妙にニュアンスが異なるものである。 委員）パブリックコメントは具体的な取り組みに関する内容が多い。第2期計画は活動指標を充実化させたので、施策の推進に寄与できると感じている。 委員）パブリックコメントに対する村の考え方や計画への反映については、事務局案のとおりでよいと考える。 委員）活動指標については、村全体の人口減少を考慮して設定すべきではないかと。 委員）日本は中学生の運動・スポーツ実施率が高いが、高校・大学と進学するにつれて低下していく傾向があるので、地域で受け皿を作っておく必要がある。 委員）スマイル東海が地域部活動の受け入れ主体として動いているが、働き方改革の影響もあり、家庭や学校の理解が重要だと感じている。各家庭に経済的負担が大きくなるように関係機関と協力しながら進めていきたい。
10 今後の予定	次回は、3月中旬頃に開催予定。